

ヒガンバナ科 ハナニラ属

総合対策
(その他)

ハナニラ (花萼)

Ipheion uniflorum (Graham) Raf.

自生環境

野原、人家近くなど

原産地

アルゼンチン

予想される被害

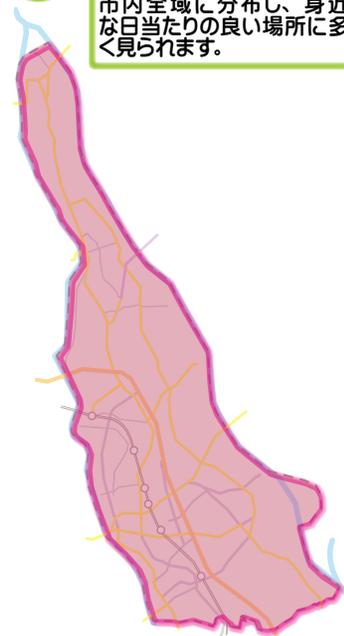
駆逐



庭や花だんによく植えられます。その一方で、繁殖力が強く、球根でどんどん増えるためあちこちで野生化しています。育てるときは野生化させないような気配りが必要です。

市内の分布状況

市内全域に分布し、身近な日当たりの良い場所に多く見られます。



特徴

- ☆ 春に咲く秋植え球根として、世界じゅうで栽培されています。日本には明治時代に渡来し、属名をカタカナにした「イフエイオン」の名で呼ばれることもあります。いわゆるスプリングエフェメラルのひとつで、地上部が現れるのは春のみです。花が終わると、他の植物が生い茂る前に休眠に入ります。
- ☆ 春に咲く花の花びらは6枚で、星のような形をしています。そのことから英語名は spring star-flower です。花色は薄青紫色のものが多いですが白、ピンク、青紫色などのバリエーションがあります。果実はめったにできません。
- ☆ 果実ができない代わりに、地中でどんどん新しい球根をつくり、それで増えていきます。近年は土とともに球根があちこち運ばれ、野生化してしまっています。育てるときは周辺に野生化させないよう気をつけたいところです。

ハナニラと花にらは別物

ニラは葉を食べる野菜としておなじみですが、花茎とつぼみを摘んで食べる「花にら」と呼ばれるものもあります。これは「ニラのつぼみ」を指すもので、ハナニラとは全くの別物です。ハナニラの葉にもニラのような匂いがあるものの、食べられるかどうかの情報は無く、安全の保証はできません。そのため、ハナニラと「花にら」を取りちがえないよう気をつけたいところです。



春に星形の花を咲かせる



花色は株によって少しずつちがう



がいかりへん
外花被片

ないかりへん
内花被片

外花被片と内花被片はほぼ同じかたちで、それぞれ3枚ずつ



ぼろよろ
苞葉

花の下に2枚の苞葉がある



果実はめったにできない

葉を揉むとニラのような匂いがある



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

